



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月28日

上場会社名 ジェコス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9991 URL <https://www.gecoss.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野房 喜幸
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土岐 隆 (TEL) 03-3660-0776
 四半期報告書提出予定日 2022年2月2日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	81,822	1.9	3,372	△24.5	3,769	△21.2	2,585	△22.5
2021年3月期第3四半期	80,274	△4.9	4,468	△2.4	4,783	△1.6	3,334	0.5

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,372百万円(△26.5%) 2021年3月期第3四半期 3,228百万円(△1.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	71.03	—
2021年3月期第3四半期	91.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	105,781	58,662	55.5
2021年3月期	102,847	59,794	58.1

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 58,658百万円 2021年3月期 59,792百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	15.00	—	20.00	35.00
2022年3月期	—	15.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	111,000	0.7	5,550	△8.6	5,900	△9.2	4,050	△11.0	111.27

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2022年3月期3Q	36,436,125株	2021年3月期	36,436,125株
2022年3月期3Q	40,094株	2021年3月期	39,855株
2022年3月期3Q	36,396,142株	2021年3月期3Q	36,396,664株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定等については、四半期決算短信[添付資料]4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2021年4月～2021年12月)におけるわが国経済は、海外経済および国内消費の回復等により緩やかな持ち直しの動きが続いているものの、足下は新型コロナウイルス変異株の影響が拡大しており、予断を許さない状況と見ております。

当社グループの属する建設業界におきましては、公共投資は底堅く推移したものの、民間建築分野の需要持ち直しには停滞感も見られ、引き続き動向を注視する必要があります。

このような経営環境のなか、当社グループでは、コストのみならず提案力、品質等も含めた総合的な競争力の向上に取り組むとともに、事業拡大分野についても受注活動を強化し、収益の確保に努めたものの、売上高は増収ながら競争激化に伴う採算性低下等により減益となりました。引き続き、お客様の期待以上の価値を継続的に提供することを目指し、収益力強化を進めてまいります。

なお、「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しておりますが、当第3四半期連結累計期間の収益への影響は、売上高は70百万円減少、売上原価は30百万円増加となり、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ100百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は2,230百万円減少しております。詳細については、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご参照ください。

(単位：百万円)

	2021年3月期 第3四半期 (2020/4～2020/12)	2022年3月期 第3四半期 (2021/4～2021/12)	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	80,274	81,822	1,548	1.9
仮設鋼材事業	72,891	74,937	2,047	2.8
建設機械事業	10,102	10,235	132	1.3
調整額※	△2,719	△3,350	△631	
売上原価	△65,494	△67,792	△2,298	
売上総利益 (利益率%)	14,780 18.4	14,030 17.1	△750	△5.1
販売費及び一般管理費	△10,311	△10,658	△347	
営業利益 (利益率%)	4,468 5.6	3,372 4.1	△1,097	△24.5
営業外収益	349	426	77	
営業外費用	△34	△28	5	
経常利益 (利益率%)	4,783 6.0	3,769 4.6	△1,014	△21.2
仮設鋼材事業	4,776	3,653	△1,123	△23.5
建設機械事業	455	300	△156	△34.2
調整額※	△448	△183	265	
特別損失	△6	△56	△50	
税金等調整前四半期純利益 (利益率%)	4,777 6.0	3,713 4.5	△1,064	△22.3
税金費用	△1,444	△1,129	315	
四半期純利益 (利益率%)	3,333 4.2	2,584 3.2	△749	△22.5
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1	△0	
親会社株主に帰属する四半期純利益 (利益率%)	3,334 4.2	2,585 3.2	△749	△22.5

※ セグメント売上の調整額はセグメント間の内部売上高又は振替高の消去額であり、セグメント利益の調整額は連結調整であります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期における連結財政状態は以下のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2021年3月期 2021/3末	2022年3月期 第3四半期 2021/12末	前期末比	
			増減額	増減率(%)
流動資産	71,446	73,622	2,176	3.0
現金及び預金	1,117	895	△222	△19.9
受取手形及び売掛金	31,814	31,398	△416	△1.3
電子記録債権	8,505	8,500	△5	△0.1
たな卸資産	23,900	24,391	491	2.1
その他	6,266	8,481	2,215	35.3
貸倒引当金	△156	△43	113	—
固定資産	31,400	32,159	758	2.4
有形固定資産	23,439	23,919	480	2.0
賃貸用建設機械	5,013	5,422	410	8.2
建物及び構築物	3,539	3,608	69	1.9
土地	13,016	12,982	△35	△0.3
リース資産	5	—	△5	△100.0
その他	1,865	1,907	42	2.2
無形固定資産	672	673	1	0.1
投資その他の資産	7,290	7,567	277	3.8
投資有価証券	3,583	3,689	106	3.0
退職給付に係る資産	2,901	3,015	114	3.9
その他	934	968	34	3.6
貸倒引当金	△127	△104	23	—
資産合計	102,847	105,781	2,934	2.9
	2021年3月期 2021/3末	2022年3月期 第3四半期 2021/12末	前期末比	
			増減額	増減率(%)
流動負債	37,959	42,349	4,391	11.6
支払手形及び買掛金	21,179	21,454	276	1.3
電子記録債務	8,915	12,439	3,525	39.5
短期借入金	1,960	—	△1,960	△100.0
リース債務	5	—	△5	△100.0
未払法人税等	1,185	281	△903	△76.2
引当金	1,149	498	△652	△56.7
その他	3,566	7,677	4,111	115.3
固定負債	5,094	4,769	△325	△6.4
長期借入金	2,110	2,110	—	—
再評価に係る繰延税金負債	1,668	1,658	△11	△0.6
引当金	280	247	△33	△11.8
退職給付に係る負債	308	324	16	5.3
その他	729	431	△298	△40.9
負債合計	43,053	47,119	4,066	9.4
株主資本	58,564	57,665	△898	△1.5
資本金	4,398	4,398	—	—
資本剰余金	4,596	4,592	△4	△0.1
利益剰余金	49,595	48,700	△895	△1.8
自己株式	△24	△25	△0	—
その他の包括利益累計額	1,229	993	△236	△19.2
その他有価証券評価差額金	1,129	1,057	△72	△6.4
土地再評価差額金	△796	△820	△24	—
為替換算調整勘定	1	2	1	51.7
退職給付に係る調整累計額	895	755	△140	△15.7
非支配株主持分	1	4	2	177.6
純資産合計	59,794	58,662	△1,132	△1.9
負債純資産合計	102,847	105,781	2,934	2.9

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の連結業績予想につきましては、現時点では2021年4月23日に公表いたしました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,117	895
受取手形及び売掛金	31,814	31,398
電子記録債権	8,505	8,500
建設仮設材	20,690	20,119
商品	1,668	1,891
製品	535	1,147
仕掛品	532	666
原材料及び貯蔵品	474	568
預け金	5,900	8,200
その他	366	281
貸倒引当金	△156	△43
流動資産合計	71,446	73,622
固定資産		
有形固定資産		
賃貸用建設機械（純額）	5,013	5,422
建物及び構築物（純額）	3,539	3,608
土地	13,016	12,982
リース資産（純額）	5	-
その他（純額）	1,865	1,907
有形固定資産合計	23,439	23,919
無形固定資産		
投資その他の資産	672	673
投資有価証券	3,583	3,689
退職給付に係る資産	2,901	3,015
その他	934	968
貸倒引当金	△127	△104
投資その他の資産合計	7,290	7,567
固定資産合計	31,400	32,159
資産合計	102,847	105,781

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,179	21,454
電子記録債務	8,915	12,439
短期借入金	1,960	-
リース債務	5	-
未払法人税等	1,185	281
賞与引当金	1,110	498
引当金	39	-
その他	3,566	7,677
流動負債合計	37,959	42,349
固定負債		
長期借入金	2,110	2,110
再評価に係る繰延税金負債	1,668	1,658
引当金	280	247
退職給付に係る負債	308	324
その他	729	431
固定負債合計	5,094	4,769
負債合計	43,053	47,119
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,398	4,398
資本剰余金	4,596	4,592
利益剰余金	49,595	48,700
自己株式	△24	△25
株主資本合計	58,564	57,665
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,129	1,057
土地再評価差額金	△796	△820
為替換算調整勘定	1	2
退職給付に係る調整累計額	895	755
その他の包括利益累計額合計	1,229	993
非支配株主持分	1	4
純資産合計	59,794	58,662
負債純資産合計	102,847	105,781

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	80,274	81,822
売上原価	65,494	67,792
売上総利益	14,780	14,030
販売費及び一般管理費	10,311	10,658
営業利益	4,468	3,372
営業外収益		
受取利息	1	6
受取配当金	56	55
持分法による投資利益	164	223
固定資産売却益	70	98
その他	57	43
営業外収益合計	349	426
営業外費用		
支払利息	17	15
支払補償費	-	8
その他	17	5
営業外費用合計	34	28
経常利益	4,783	3,769
特別損失		
減損損失	-	56
災害による損失	6	-
特別損失合計	6	56
税金等調整前四半期純利益	4,777	3,713
法人税、住民税及び事業税	1,154	367
法人税等調整額	289	762
法人税等合計	1,444	1,129
四半期純利益	3,333	2,584
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,334	2,585

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	3,333	2,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△38	△72
為替換算調整勘定	△1	1
退職給付に係る調整額	△66	△140
その他の包括利益合計	△105	△211
四半期包括利益	3,228	2,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,229	2,374
非支配株主に係る四半期包括利益	△1	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。これにより、買戻条件が付された建設仮設材の取引に係る収益の認識方法において、従来、販売契約と判断して当初の売却価格に基づき出荷時点で収益を認識していた取引について、収益認識会計基準等の定めに従い、顧客から受け取ると見込まれる対価の額を、見積もった顧客の使用予定期間にわたって収益を認識する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の収益への影響は、売上高は70百万円減少、売上原価は30百万円増加となり、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ100百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は2,230百万円減少しております。

収益認識会計基準等を適用したことによる科目の組替え表示はありません。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。